

第17回 グリーン購入大賞

GREEN PURCHASING AWARD 2015



主 催 グリーン購入ネットワーク(GPN)

後 援 環境省、経済産業省、農林水産省、日本経済団体連合会、WWFジャパン、
読売新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、日経BP社



審査員奨励賞

中小企業部門



代表取締役
石坂 典子

石坂産業株式会社

●くぬぎの森環境塾 認定「体験の機会の場」

産業廃棄物処理事業者である石坂産業株式会社は、迷惑産業という従来のイメージを払拭し、隠すではなく見ることで産業廃棄物業の実態への認知を高め、環境保全のマインドを育てるための環境教育に取り組んでいます。「気づき」のプログラムでは、「壊された家」を題材に、地球温暖化防止や環境負荷削減には4R(3R+respect(尊敬)：もったいないという意識を持つこと)が重要であるこ

とを解説する他、プラント見学や生物多様性の保全に取り組む里山で自然と触れ合うことで、生態系サービスについて考える「体験の機会の場」を提供しています。また、体験コンテンツやファシリテーターの品質向上を図るため、ISO29990を取得し、来場者が五感で体験できる環境教育を実施しており、見せる・体験してもらう活動が社員・職員研修の場として、評価され、来場者が急増しています。

評価

自ら考えさせる体験学習は、グリーン購入を広げる観点で重要です。産業廃棄物分野において、家という身近な題材を通して、リサイクルや地球温暖化防止に関する具体的な取り組みを見せる「体験の機会の場」の提供は、多くの来場者の気付きの機会となっており、グリーンコンシューマー育成に多大なる貢献をしていると高く評価されました。

《受賞にあたって》

1人ひとりが身近な環境負荷を低減する行動に移ることが、持続発展可能な社会を築くことにつながります。当社は施設全体を環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」の認定を得て、子どもから大人まで様々な方々に施設の五感体験ツアーを通じ里山や資源の大切さに気付きを促し、日本の伝統文化「MOTTAINAI」の伝承に努めています。今後とも環境教育の支援活動に邁進してまいります。ありがとうございました。

中小企業部門



代表取締役社長
村上 尊宣

株式会社エコファクトリー

●輻射熱冷暖房システム「エコワイン」(環境配慮製品) の 製造・販売、サービスの普及・拡大の取り組み

エコファクトリーは、輻射熱移動の原理を応用し実用化した、輻射式冷暖房システムである「エコワイン」の製造、販売を通じて、省エネ性能の高い機器の普及・拡大に取り組んでいる。

「エコワイン」は、「九州エコライフポイント」の対象商品となっており、対象製品の購入によりポイント券が交付

され、ポイント取扱店でのお買い物に使用できる。展示会・体感会などを通じて普及に取り組むとともに、エアコンを熱源とした新製品「ecowin HYBRID」の売上の一一部を森林保全に還元し、健全な森林の維持管理を推進する取り組みを実践している。

評価

省エネだけでなく、風が出ない体にやさしい次世代型の輻射式冷暖房システムという、地球上にも優れた製品を開発された点、「ecowin HYBRID」の開発・普及による効果に今後更に期待できる点が評価された。また、購入者に選択しやすくする仕組みである「九州エコライフポイント」の対象商品として認定を受けることで、より身近な商品となっている。エコファクトリーは、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)国際事業の認定を得て、プロジェクトを進めており、製品開発にとどまらず、国内外における「エコワイン」の普及活動を通じて、省エネ性能の高い機器の普及・拡大による、地球環境保全を促進されることが期待される。

《受賞にあたって》

この度は素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思っております。現在、地球環境は、温暖化が進行し気候変動や生態系への深刻な影響が顕在化しています。私たちの豊かな生活の対価が、エネルギー消費によるCO₂の排出により、この悪循環を生み出す結果となっています。弊社は独自開発の革新的な省エネ技術を更に研ぎ高め、世界に展開し地球環境問題に貢献して参ります。

民間団体・学校部門



代表理事
田畠 久義

一般社団法人日本WPA

●スマートフォンを使って一般消費者・環境担当者向けの 環境マークの画像検索と内容説明

印刷物の制作発注担当者にとって、たくさんある環境ラベルを簡単に検索でき、その意味を理解したいという要望があります。そこで日本WPAは、印刷発注担当者が頻繁に目にする環境ラベルや消費財に表示されている環境ラベルを対象に、スマートフォンで検索ができ、そ

の環境ラベルの意味を知ることができるアプリを開発し、無料で利用できるサービスの提供を始めました。使える環境ロゴ検索ツールとして、企業担当者、一般消費者に利用されるよう、情報発信に取り組んでいます。

評価

スマートフォンの活用ということで、手軽さや楽しさがあり、若者が環境問題に关心を持つきっかけとなる可能性を秘めている。また、民間団体が、氾濫する環境ラベルを整理し、わかりやすく紹介するサイトを独自に立ち上げられ、さらに機能の充実に取り組んでいることが評価された。スマートフォンという身近なツールを活用し、消費者への環境ラベルの情報提供を通じて、グリーン購入をさらに普及させていくことが期待される。

《受賞にあたって》

名譽ある審査員奨励賞をいただき、有難うございます。我々は環境に合致する印刷物作りを目指しています。この「環境ロゴの画像検索ができるARアプリ」は、企業の環境担当者の声から生まれました。一覧性印刷物は手元にあるわけなく、より、簡単に、より直感的検索にできる方法として編み出されました。これを機にできるだけ多くの環境ロゴを登録し、一般消費者にまで愛用されるツールにしたく思っています。